

令和5年度版 学習資料「一家に1枚」のテーマ

2019 日本列島7億年



2020 南極



2021 海



2022 ガラス

2018 量子ビームの図鑑



2017 生きものすべては細胞から



2016 水素



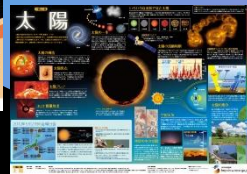
2015 くすりの形



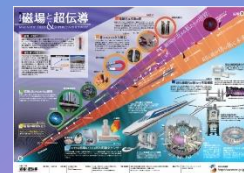
2014 動くタンパク質



2013 鉱物



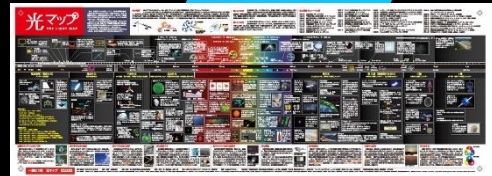
2012 太陽



2011 磁場と超電導



2010 未来をつくるプラズマ



2009 天体望遠鏡400年



2008 光マップ



2007 宇宙図



2006 ゲムマップ



2005 元素周期



募集中

- ・募集期間：令和4年6月1日(水)～7月15日(金)
- ・第19作目「一家に1枚」のテーマを募集します
- ・採択テーマは外部有識者で構成する委員会での審査を経て決定されます

令和5年度版「一家に1枚」は
全国の小・中・高等学校、
科学館・博物館などに
31万枚程度配布される
予定です

文部科学省では、毎年、4月の科学技術週間にあわせて学習資料「一家に1枚」を制作しています。過去の作品(全18作)は下記WEBサイトに掲載中ですので、ぜひご覧ください。

科学技術週間ウェブサイト <https://www.mext.go.jp/stw/series.html>



科学技術週間

令和5年度学習資料「一家に1枚」の応募要領及び制作の進め方等について

1. 学習資料「一家に1枚」とは

文部科学省では、国民の皆様が科学技術に触れる機会を増やし、科学技術に関する知識を適切に捉えて柔軟に活用いただくことを目的として、学習資料「一家に1枚」を制作しています。学習資料「一家に1枚」シリーズの原点である「一家に1枚 元素周期表」は、玉尾皓平先生（京都大学 名誉教授）の「美しくかつ豊富な情報を含んだ周期表を各家庭に普及させ、身の回りのものは全て元素からできていること、そして科学技術の発展とその恩恵をふだんの日常生活の中で広く認識してもらえる状況を構築したい」との熱い思いから生まれました。

学習資料「一家に1枚」シリーズの基本コンセプトは次のとおりです。

- ① 見た目にインパクトがあり、印象的で、大人から子供まで部分的にでも興味を持てるもの
- ② 見た目がきれいで、部屋に貼っておきたくなるもの
- ③ 基礎的・普遍的な科学知識を中心とするもの
- ④ 身近な物や事象との関連付けをして、親しみを持てるもの
- ⑤ A1判及びA2判サイズの両サイズにおいて、1枚で見やすいもの
- ⑥ 身のまわりでいつも科学の発展と恩恵を意識してもらえるようなもの

これまで18種類の制作を行ってきましたが、令和5年度の第64回科学技術週間にあわせて19種類目を制作するにあたり、監修をしていただく方を募集します。

2. 学習資料「一家に1枚」の配布先

令和5年度の科学技術週間（毎年、「発明の日」である4月18日を含む月曜日に始まり日曜日に終わる1週間）にあわせて、19種類目の学習資料を制作し、全国の小学校・中学校・高等学校、大学等に配布するとともに、科学館や博物館等の配布協力機関を通じて配布を予定しています（無償配布。令和4年度配布実績：約31万枚）。

3. 募集内容

この度、令和5年度版の学習資料「一家に1枚」の企画・制作及び内容に関する監修をしていただく方（監修者）を募集します。学習資料「一家に1枚」シリーズは、見た目がきれいで分かりやすいビジュアルと、一般の方の科学技術への興味を喚起する内容との両方が重要となるため、監修者には科学技術と社会との関係の深化に熱意のある方を求めています。

第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定、<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf>）では、日本が目指すべき未来社会の姿であるSociety 5.0の実現が明記されるとともに、Society 5.0時代の学びの実現の必要性や、好奇心に基づく探求力の強化に向け、初等中等教育段階からのSTEAM教育の推進（問題発見・課題解決的な学びの充実）が盛り込まれています。また、内閣府総合科学技術・イノベーション会議 教育・人材育成ワーキンググループでは、「Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ案」（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議了承）がとりまとめられています

<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kyouikujinzai/index.html>）。

こういった背景を踏まえつつ、AIやIoTの急速な発達により、今までにない速度で変化する社会を生きていく子供たちに、これからの未来をつくる科学技術や将来必要な能力とは何かについて考えるきっかけの一つとしても役立つべく、令和5年度版学習資料「一家に1枚」は、特に以下のような提案を募集します。また提案にあたり、提案テーマがSTEAM

教育など問題発見・課題解決的な学びの充実にも資する内容であり、受け手となる子供たちが対話や協働を通じて、知識やアイデアを共有、学びを深めることができる内容であることが望まれます。

- (A) 第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）や統合イノベーション戦略2021（令和3年6月18日閣議決定）等の政府の政策文書を踏まえ、AI技術、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル、環境エネルギー、健康・医療、宇宙、海洋、防災等の分野で、これからの社会で重要な役割を果たす（又は現在既に重要な役割を果たしている）科学技術に焦点を当て、基礎的・普遍的な科学知識について多角的に解説した提案、もしくは、こういった分野に応用される共通基盤的な数理・科学知識や研究開発に焦点を当てて多角的に解説した提案。
- (B) 必ずしも上記を直接のテーマとはしないものの、基礎的・普遍的な科学知識について多角的に解説した提案。

※提案テーマが社会課題解決やSDGs（国連の持続可能な開発目標）の観点が含まれている内容を歓迎いたします。

【応募締切日時】 令和4年7月15日（金）17時（※締切厳守）

【補足・留意事項】

○応募に向けて

- ・応募の際には、別紙フォーマットに『1. テーマ名（「一家に1枚 ○○○」等）』、『2. コンセプト及び紙面のイメージ（別紙で構図（紙面のイメージ）を必ず提出ください）』、『3. 内容の概要』、『4. 対象への訴求点』、『5. 監修者の御氏名・御所属』、『6. 実施体制』、『7. 類似業務に関する実績』、『8. 連絡先』を記載し、人材政策課宛てにメール（stw@mext.go.jp）又は郵送（令和4年7月15日必着）にて御応募ください。既存の作品のテーマと重複がなければ、過去に本件へ御応募頂いた企画の再応募も可能です。

○監修者について

- ・監修者には、ボランティアとして制作に御協力いただくこととなりますことを、あらかじめお断り申し上げます。（本件制作における文部科学省からの予算負担は、現状、学習資料「一家に1枚」にかかるデザイン制作費及び印刷費、特設ウェブサイト制作費（PR動画制作含む）を想定しております。）
- ・監修者には、学習資料「一家に1枚」本体の制作に加え、テーマと内容が連動した特設ウェブサイトや、その内容を広くPRするための動画（解説動画含む）の制作に内容面で主体的に関わっていただく方を募集しております。また、令和5年度版科学技術週間告知ポスター（学習資料「一家に1枚」とデザインや内容を連動させたものとするを予定しています）の制作にも御協力いただくことを想定しています。監修者には、来年度の科学技術週間中の学習資料「一家に1枚」関連のイベント開催等含め、様々な広報活動にもご協力いただきます。かなりのエフォートを割いていただくことが想定されますところ、応募にあたっては監修者1名のみでの体制ではなく、監修者をサポートできる体制を有することを要件としております（別紙フォーマットの6. 実施体制に記載ください）。

○企画内容について

- ・科学技術の専門知識を持たない一般の方や小中学生等にも分かりやすい内容の企画を募集しています。また小・中・高校生に対し、対象となるテーマがどのような関係性を持ち、将来的にどのような展開が期待されるか等を明確に記載ください（別紙フォーマットの『4. 対象への訴求点』に記載ください）
- ・学習資料（A1またはA2サイズの1枚紙）という媒体の性質上、すべての内容を詰め込

んだ細かい文字が詰まった紙面ではなく、図や写真、QRコード等を活用した、見やすく分かりやすい成果物の制作を想定しています。

- ・GIGA スクール構想を踏まえ、提案には、学校教育の場等でも活用いただけるようなウェブサイトへの展開を盛り込んでください（学習資料のテーマに関係するが、紙面に載りきれない細かい情報についてQRコードを通じて特設ウェブサイト上に掲載する等（紙面のイメージにも盛り込んでください））。具体的な内容は、別紙フォーマットの『3. 内容の概要』にも記載ください。

4. 選考方法、選考後のスケジュール等

企画の選考は、外部有識者を含めた企画選考委員会にて行います。選考の際には、文部科学省において、企画提案者による提出書類を踏まえた審査（1次審査）、その結果を踏まえプレゼンテーションによる審査（2次審査）を予定しています（プレゼンテーション審査に進んだ企画提案者には別途ご連絡いたします）。なお、プレゼンテーション審査は、現状オンラインを想定しております。

企画の選定後、学習資料「一家に1枚」の制作を開始します。企画採用者（監修者）には、文部科学省及びデザイン会社等と密に連携をとりながら、内容面で主体的に制作に携わっていただくこととなります。またデザインがある程度できた段階で、特設ウェブサイトやPR動画の制作にも進みます。具体的には、監修者には、制作する学習資料「一家に1枚」に掲載する内容の執筆や専門用語の解説等を中心に、当該テーマの専門家として執筆・監修をお願いすることとなります（ポスターとしてのデザインにかかる調整等はデザイン業者等とともに協力しながら進めます）。その際、学習資料制作に必要な打合せへの出席やメールでの調整等をお願いすることとなりますので、御承知おき願います。

なお、デザイン会社等は文部科学省にて選定します。デザイン会社から文部科学省への版下納品後、印刷作業に入ります（令和4年度版配布実績：約31万枚）。

また、学習資料「一家に1枚」全体の著作権は、文部科学省に帰属することになりますので、あらかじめ御承知おき願います。

今後のスケジュール（予定）

| | | |
|-------|-----------------|---|
| 令和4年度 | 7月15日17時 | : 企画募集締切 |
| | 7月下旬～8月 | : 企画選考委員会による選考、テーマ決定 デザイン制作会社決定 |
| | 9月上旬～1月頃 | : 「一家に1枚」本体制作 |
| | 2月初旬～3月中旬 | : 印刷用版下の納品、印刷物の納品 |
| | 3月下旬 | : 配布協力機関、教員委員会等へ発送 |
| 令和5年度 | 4月上中旬 | : 教育委員会等を通じ全国の小中学校等へ配布 |
| | (科学技術週間中) | : 配布協力館等で一般の方に配布 |

※「一家に1枚」のデザイン作成状況を踏まえ、並行して令和5年3月末までに特設ウェブサイトやPR動画等の制作を予定。

これまでの学習資料「一家に1枚」シリーズについて（全18種類）

（対象の科学技術週間における年度表記）

下記の学習資料「一家に1枚」シリーズは、科学技術週間ホームページ
(<https://www.mext.go.jp/stw/index.html>)よりダウンロードが可能です。是非御参照ください。

一家に1枚「元素周期表」（平成17年度）

制作・著作：文部科学省、企画・制作：(株)化学同人、監修：日本化学会、日本物理学会、日本薬学会、日本微量元素学会、高分子学会、応用物理学会、企画協力：玉尾皓平（京都大学・理化学研究所）、桜井弘（京都薬科大学）、寺嶋孝仁（京都大学）、竹内敬人（神奈川大学）、(株)化学同人

一家に1枚「ゲノムマップ」（平成18年度）

監修：文部科学省、著作・販売：科学技術広報財団、企画：文部科学省科学研究費・特定領域研究「ゲノム」4領域、企画協力：藤山秋佐夫（国立情報学研究所）、加藤和人（京都大学）、制作：京都大学大学院生命科学研究所・生命文化化学研究室

一家に1枚「宇宙図」（平成19年度）

監修：文部科学省、日本天文学会天文教材委員会、著作・販売：科学技術広報財団、企画：国立天文台、天文学普及プロジェクト「天プラ」、制作：「一家に1枚宇宙図」制作委員会

一家に1枚「光マップ」（平成20年度）

制作・著作：文部科学省、監修：河田聡（理化学研究所）、制作：河田聡、藤田克昌、庄司暁、協力：NPO法人フロンティア・アソシエイツ、河田芹菜

一家に1枚「天体望遠鏡400年」（平成21年度）

制作・著作：文部科学省、監修：日本天文学会天文教材委員会、企画：国立天文台、制作：「一家に1枚天体望遠鏡400年」制作委員会

一家に1枚「未来をつくるプラズマ」（平成22年度）

制作・著作：文部科学省、制作・監修：プラズマ科学連合プラズママップ制作委員会、企画・編集：プラズマ科学連合、(株)荒川印刷

一家に1枚「磁場と超伝導」（平成23年度）

制作・著作：文部科学省、企画・監修：低温工学協会、制作協力：下山淳一（東京大学）、石山敦士（早稲田大学）、沼澤健則（物質・材料研究機構）、淡路智（東北大学）、廿日出好（豊橋科技大）

一家に1枚「太陽」（平成24年度）

制作・著作：文部科学省、企画・監修：天文教育普及研究会、制作協力：一家に1枚「太陽」制作委員会

一家に1枚「鉱物」(平成25年度)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：日本鉱物科学会、制作協力：一家に1枚「鉱物-地球と宇宙の宝物-」制作ワーキンググループ

一家に1枚「動く！タンパク質」(平成26年度)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：日本生物物理学会、制作協力：一家に1枚「動く！タンパク質」制作ワーキンググループ

一家に1枚「くすりの形」(平成27年度)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：上杉志成(京都大学)、土佐尚子(京都大学)、飯吉透(京都大学)、制作協力：京都大学物質・細胞統合システム拠点、京都大学化学研究所

一家に1枚「水素」(平成28年度)

制作・著作：文部科学省、企画・制作：大友季哉、宇佐美徳子、餅田円、大島寛子(高エネルギー加速器研究機構)、監修：折茂慎一(東北大学WPI-AIMR/金属材料研究所)、阿部仁、池田一貴、岩野薫、木村正雄、熊井玲児、千田俊哉、山田和芳(高エネルギー加速器研究機構)

一家に1枚「生きものすべては細胞から」(平成29年度)

制作・著作：文部科学省、企画：京都大学iPS細胞研究所、制作・監修：中内彩香(京都大学iPS細胞研究所)、遠山真理(総合地球環境学研究所)、野口悦(大阪大学大学院医学系研究科)、川上雅弘(奈良先端科学技術大学院大学)

一家に1枚「量子ビームの図鑑」(平成30年度)

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：安居院あかね、鈴木國弘、足立恵美子(量子科学技術研究開発機構)

一家に1枚「日本列島7億年」(平成31年度)

制作・著作：文部科学省、企画：一般社団法人日本地質学会、監修・アートディレクター：辻森樹(東北大学)、磯崎行雄(東京大学)

一家に1枚「南極」(令和2年度)

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：本吉洋一、江尻省、橋田元、渡辺佑基、中村卓司、野木義史、富川喜弘、川村賢二、三浦英樹(大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所)

一家に1枚「海」(令和3年度) ※特設ウェブサイトや動画あり

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：JAMSTEC(大河内直彦、豊福高志、田村貴正、市原盛雄、外崎瞳、藤本憲章、麻生達也、新田洋一郎、他)、写真提供：JAMSTEC、長崎大学、協力：国土交通省

一家に1枚「ガラス」(令和4年度) ※特設ウェブサイトや動画あり

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：国際ガラス年日本実行委員会、産業技術総合研究所、写真提供：日本セラミック協会(GIC)、AGC(株)、日本電気硝子(株)他

令和5年度版学習資料「一家に1枚」 企画案

※厳密な枚数制限はありませんが、おおむね3～5枚程度を目安に作成ください。

| | | |
|--|----------------|----|
| 1. テーマ名 | | |
| 2. コンセプト及び紙面のイメージ (300字程度) <u>※本紙とは別に、パワーポイント等で、構図(紙面のイメージ)を必ずご提出ください(構想段階のもので構いません)。</u> | | |
| 3. 内容の概要 (全体構成や掲載予定の内容等) ・AIやIoTの急速な発達により、今までにない速度で変化する社会を生きていく子供たちに、これからの未来をつくる科学技術や将来必要な能力とは何かについて考えるきっかけの一つとして役立つ提案を募集((A) or (B))。 ・提案テーマがSTEAM教育など問題発見・課題解決的な学びの充実にも資する内容であり、受け手となる子供たちが対話や協働を通じて、知識やアイデアを共有、学びを深めることができる内容であることが望まれます。 ※提案テーマが社会課題解決やSDGs(国連の持続可能な開発目標)などの観点が盛り込まれている内容も歓迎いたします。 | ◇全体構成や掲載予定の内容 | |
| | (A) or (B) | 理由 |
| | ◇ウェブへの展開(具体的に) | |

| | |
|---|---|
| | ◇STEAM 教育など問題発見・課題解決的な学びの充実等の観点 |
| | ◇社会課題解決や SDGs（国連の持続可能な開発目標）の観点（該当あれば） |
| | ◇令和5年度に取り上げるべき理由 |
| | ◇その他 |
| <p>4. 対象への訴求点 （特に小・中・高校生に対し、対象となるテーマがどのような関係性を持ち、将来的にどのような展開が期待できるのか、等）</p> | <p><u>小学生</u></p> <p><u>中学生</u></p> <p><u>高校生</u></p> <p><u>その他</u></p> |

| | |
|---|--|
| <p>5. 監修者[※] (御氏名・御所属) ※監修者については複数も可ですが、制作にあたり文部科学省との窓口になって頂く方(代表者・1名)をご記入ください。</p> | |
| <p>6. 実施体制 (本企画の実施にあたり監修者をサポートする体制を具体的にご記入ください。)</p> | |
| <p>7. 類似業務に関する実績 これまでのポスター、広報媒体等の制作経歴をご記入ください(制作物の添付も可)</p> | |
| <p>8. 連絡先</p> | (組織名) (部署名) (担当者様氏名) (電話) (E-mail) |

※ 選考結果については、上記連絡先に連絡いたします。また、選考前に別途資料を求める場合もありますので、連絡先は必ず御記入願います。